

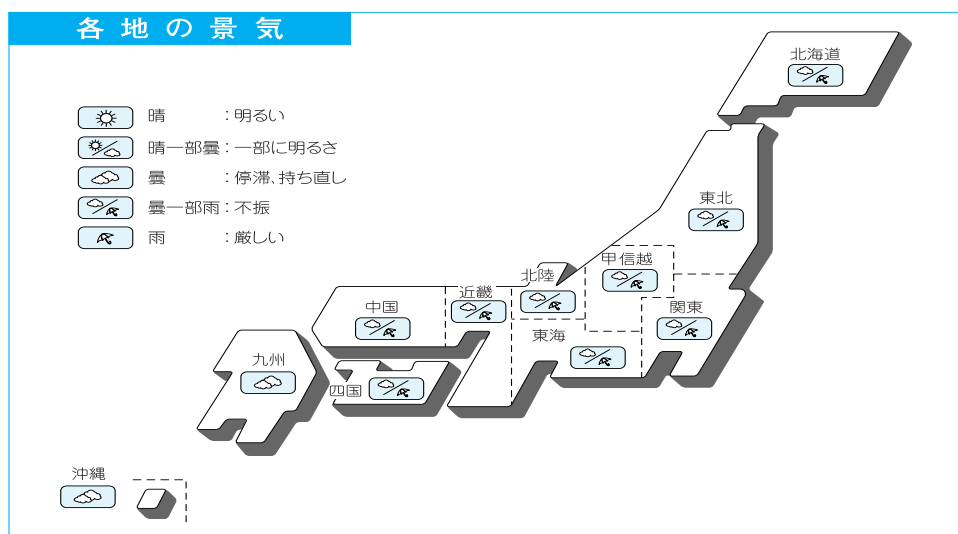
全国地方銀行協会

地方経済天気図

(平成24年12月発表分) から

内外需要の減少から生産が悪化し、景気は後退

1. 各地の景況感



- ☔️ • 北海道、甲信越、北陸…個人消費は、乗用車販売が減少したほか、大型小売店販売も衣料品を中心に振わず、低調。
- ☔️ • 東北…住宅建築は、震災に伴う建替え需要から持ち直し。個人消費は、大型小売店販売、乗用車販売ともに減少し、弱含み。
- ☔️ • 関東、東海、近畿…生産は、一般機械、電気機械、輸送機械が減少し、停滞。
- ☔️ • 中国、四国…輸出は、鉄鋼、自動車、船舶が減少し、弱含み。
- ☁️ • 九州…輸出は、中国向けの自動車、台湾向けの半導体製造装置が減少し、足踏み。
- ☁️ • 沖縄…観光は、国内客が増加したものの、中国などの外国人客が減少し、持ち直しの動きが一服。

2. 近県「現在の景況」

「宮城県」

全体として景気は、震災復旧事業の増勢などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しているが、一部に弱めの動きがみられるなど、回復のテンポは鈍化してきている。

「山形県」

持ち直しの動きに停滞感がみられる。

「新潟県」

弱含み。

「栃木県」

弱い動き。

「茨城県」

弱めの動き。

3. トピックス（東北・近県）

「青森県」

10月20日～21日、北九州市で開催されたご当地グルメの祭典「第7回B-1グランプリ」で、八戸市の名物「八戸せんべい汁」が初めて金賞を受賞。これを受け、地元の飲食店では注文が激増したほか、せんべいの製造業者にも全国から引合いが増加。

「秋田県」

2010年の国勢調査を基に推計した「将来推計人口・世帯数」によると、2030年の秋田市の総人口は25万9,483人と2010年に比べて6万4,117人減少する予測。年齢別にみると、2030年の年少人口が2万3,679人、生産年齢人口が14万777人、老年人口が9万5,027人と2010年に比べ年少人口と生産年齢人口が大きく減少する一方、高齢者が大幅に増加する見込み。

「宮城県」

復興庁は、復興交付金の第4次配分額を発表した。県内19市町への交付額は4,135億円（交付率53.5%）で、災害公営住宅整備（15市町63地区（計3,454戸分））や多重防御のための道路整備費（約850億円）などに充当され、過去最大規模となった。市町村別にみると、石巻市が803億円（交付率64.9%）と最も多く、次いで気仙沼市727億円（交付率62.2%）、仙台市462億円（交付率63.4%）、南三陸町450億円（交付率64.9%）などとなっており、大崎市、美里町を除く17市町が申請額を下回った。

「山形県」

山形労働局によると、来春卒業予定の県内高校生の就職内定率（10月末現在）は前年同期比4.4ポイント上昇し68.3%、県内企業は5.2ポイント上

昇し64.5%。ともに2009年以来4年ぶりの高水準。県内の求人倍率は前年同期比0.28ポイント上昇し1.31倍と過去10年間で最高。

「新潟県」

新潟経済社会リサーチセンターが実施した「2012年冬季消費動向調査」（対象：県内の勤労者2,000人）によると、半年前と比べて消費支出が「増えた」との回答割合は32.6%、「減った」との回答割合は9.4%、消費支出CSI（Consumer Survey Index：「増えた」から「減った」を引いた計数）は23.2。2012年夏の調査比0.3ポイント低下し、2011年冬の調査から2期続いた持直しの動きが鈍化。

「栃木県」

あしぎん総合研究所の「平成24年度冬季ボーナス支給予測調査」によると、1人あたり平均支給額は33万3,412円と前年度冬季調査（33万3,030円）比同水準。業種別では、製造業が前年度比2.0%減少、非製造業が2.1%増加。夏季調査（33万4,317円）比0.3%減少。震災後の支給の動きは、2011年度冬季が前年冬季比4.0%増加したものの、2012年度はほぼ横這いとなり企業のボーナス支給額は頭打ち。

「茨城県」

県は、観光客の滞在時間を増やすため、金曜日の夜から県内宿泊を促す誘客事業「金いば～金曜日は茨城へ～」の旅行商品化に着手。首都圏からの近さを生かして県内の宿泊施設や観光事業者と共同で土曜の朝から楽しめる観光・宿泊プランを開発し、2013年1月からの販売を目指す。開発した商品は、旅行情報誌やインターネットサイト、動画などで宣伝。

（出所：全国地方銀行協会地方経済天気図12月分より抜粋）

（担当：斎藤）